

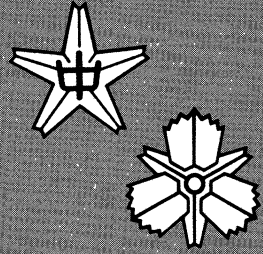


発行所

〒921
金沢市泉野出町3丁目10-10
石川県立金沢泉丘高校内

一泉同窓会

電話(0762)42-0211
1990.10.5発行



金沢一中旧本多町校舎



金沢泉丘高校新校舎

母校創立100周年 皆様のいっそうの ご協力を



一泉同窓会会長 澁谷 亮治
(一中54期)

殊の外暑い夏でしたが、一泉同窓会会員の皆様には、ご健勝にてお過ごしでしょうか。

かねてより、役員会・常任委員会で、母校創立100周年に関わる論議が交わされてきました。一方、機会あるごとに、各期で同窓会を開催し、同期生の横の連繫を深めていただき、その中で、100周年記念事業について、話し合い、ご意見を出して下さるようお願いして参りました。

現在のところ、金沢一中・泉丘高校を学び舎とした一泉同窓会会員は、2万有余名に達しています。母校は、創立90周年を機に、堅牢豪宕な校舎から、華麗潇洒な新校舎へと変身しましたが、永く深い伝統と広がりをもつ一泉同窓会は、これからも、弛むことなく、永劫に、前進発展を続けていくものと確信いたしております。

同窓会は、同窓生一人ひとりの、そして、全員の結集体であります。今はやりの経営論という、ホロンの組織であろうかと思えます。結集した同期生の生き生きとした活動が母体となって、はじめて一泉同窓会が伸展するものと思えます。

母校の創立100周年は、愈3年後となりました。そして、漸く、会員の皆様に、「一泉創立百周年記念事業」要綱を、お届けすることができました。

記念事業の根幹として、「一泉同窓会基金」を設立し、以後、永久的に継続し、年々基金の増額に努力しようとするものであります。

母校の創立100周年を機会に、同窓生意識・母校意識を昂揚させ、2万有余の全同窓生が参加して、母校の100周年記念事業を遂行しよう。という趣旨のもとに、基本的には、一人1万円の募金をお願いし、募金の半額を「一泉同窓会基金」にあて、あとの半額で、その他の記念事業・行事を實行しようというものであります。

なお、「一泉同窓会基金」の運用については、同窓会・学校・PTAの三者により、一泉同窓会基金委員会(仮称)を発足させ、運用計画を具体化する予定になっております。

また、個人・法人を問わず、別口の募金協力をお願いできれば幸甚に存じます。

同窓会名簿・記念誌は、すでに委員会が発足し編纂作業が進められています。名簿・記念誌は、募金の多少とは関係なく、すべて受益者負担ということで、ご希望の方にご購入をお願いします。

大変ご無理なお願いかとも思いますが、格別のご理解とご賛同を賜り、ご協力を心からお願い申し上げます。

泉丘高校へ

赴任して



校長 船登 芳雄

本年度、伝統ある本校へ、凶らずも転じて参りました。昭和59年完成の校舎は、全国屈指のモダンな外観を誇り、新設校と異なりませんが、前庭の緑の樹木に囲まれた厳霜碑に接するとき、本校の経てきた歴史の風雪を実感するのであります。

平成5年度の学校創立満100周年を迎えるにあたり、同窓会として記念事業を確定され、大規模な募金計画に着手されたことに対し、学校としても、心からの敬意と感謝を捧げるものであります。二学期の初旬に開催した創立記念祭においては、生徒全員に対し、明治26年、本校の前身、尋常中学校が中等教育における初の県立学校として誕生した経緯と、今回の100周年事業に触れ、伝統に思いをひそめて、先輩に恥じない人材への成長を訴えておきました。

全日制課程は、一学年普通科9クラス、理数科1クラス、三学年計30クラス、現在1,347名の生徒が本校に学んでいます。

全員が大学進学をめざす中で、学校としては、知、徳、体の調和を図りつつ、いかに志望を達成させるか、その指導に全力を尽くしております。一方、通信制課程は、生涯学習社会の中の後期中等教育普及の場として、県内ただ一校の貴重な役割を果たしております。

100周年に向けて、同窓会も学校も互いに協力しながら、より確かな歩みとなるよう念じるものであります。

“宇宙をめざせ、新しい世 一泉創立100周年に

一泉創立100周年

記念事業実行委員会が発足

創立90周年記念式典終了早々から、学校・同窓会で、創立100周年記念事業計画が論議されてきました。1988年(昭和63)9月に名簿委員会(委員長:南秀男氏・一中41期)が、そして、1989年(平成1)7月には、記念誌委員会(委員長:荒川宏氏・一中45期)が発足。

昨年8月の常任委員会で、一泉創立100周年記念事業推進会議の発足が了承され、会員の皆様から、これまでにお寄せ頂いた数々のご意見をもとに、役員会等で検討が重ねられてきました。

本年3月、宮太郎氏(前同窓会長・一中51期)を議長とする一泉創立100周年記念事業推進会議(学校・同窓会で構成する、記念事業の最高決定機関)で、米谷半平氏(一中50期)を実行委員長とする100周年記念事業実行委員会が発足しました。

実行委員会事務局を北國銀行本店におき、事務局長には、島厚夫氏(一中55期)が、また、総務委員会が設置され、委員長に小松暁一氏(泉丘3期)がそれぞれ任命され、実行委員会で、記念事業の大綱案が作成されました。



ジェットルーム・レピアルーム

準備機械・工作機械アタッチメント

津田駒工業株式会社

金沢市野町5丁目18番18号 TEL(0762) 42-1111代

取締役社長 越馬 平治

